

実験名	自己運動認知実験
主任研究者	高田一真
実験者	高田一真
実験装置	ディスプレイ、ペンタブレット、キーボード

参加者の皆様へ

この研究に参加していただき、ありがとうございます。始める前に、実験の手順について理解していただくことが重要です。以下の内容をよくお読みください

1. 研究の目標

この研究の目標は、人の運動がどのように自己認知に影響するかを調査することです。行動バイアスを避けるため、実験前に具体的な研究課題と仮説を説明することができません。実験が完了した後に説明します。

2. 指示と手順

あなたは、ディスプレイ上のカーソルを操作する実験に参加します。ディスプレイに表示されたカーソルは、ペンタブレットを介して動きます。ペンタブレット上でのあなたの手の動きが、ディスプレイ上のカーソルに反映されます。ディスプレイ上に表示されたカーソルを動かして、赤いターゲットに追跡するタスクに取り組んでいただきます。この追跡行動実験では、ディスプレイ上をランダムな動きで移動するターゲットを、できるだけ正確にカーソルを操作して追跡・追従していただきます。この追跡行動を何度か繰り返した後、複数のカーソルを操作するタスクに取り組んでいただきます。この複数カーソル操作タスクでは、5秒間手を動かしてディスプレイに表示された複数のカーソルの内、自分の手の動きと一致するものを探索していただきます。5秒間は自由な動きをしていただいて構いませんが、手がタブレットの外側に飛び出さないように指示されます。5秒間の操作後、全てのカーソルは動きを止め、番号が提示されます。提示された後、自分の動きと一致していると感じるカーソルを一つ選択し、その番号をキーボードで入力していただきます。より詳細な実験の手順や流れについては、**実験手順に関する情報**にてご確認いただけます。実験では、試行が半分に到達した段階で5分間のトイレ休憩を挟みます。実験の段階や、指示、カーソル等が表示されるディスプレイとコンピュータが設置されます。自己運動認知実験中、手元が見えないように、首元から机にかけて布で覆います。本実験で使用される機器の詳細は、**実験装置に関する情報**にてご確認いただけます。

実験には、休憩、自己運動の実験試行、実験後のアンケートが含まれます。アンケートでは、あなたが実験中に感じたことや、どうやって自分の動きと一致するカーソルを探索したかなどについて記入していただきます。このアンケートは、全ての実験試行が終了した後に実施されます。

ご回答頂きました内容はすべて匿名化され、データ分析のためにのみ使用されます。実験を開始すると、より詳細な指示が別の説明書で示され、実験に慣れるための練習試行が行われます。

3. 必要な時間

実験にはおおよそ40分かかります。謝礼としては1500円のアマゾンギフトカードを提供します。何らかの理由で実験が完了できなかった場合においても、金額に変更はありません。

4. 危険性と利益

本実験で使用される機材は、一般的に参加者へのリスクは低いです。ただし、長時間同じ姿勢で座っていることや、腕を動かすことによる身体的疲労を起こす可能性があります。身体的疲労のリスクは、実験前と実験後のストレッチ、また実験中の休憩によって最小化されます。万が一、実験装置に対して突発的な反応が出た場合は、実験を中止します。

受け取る報酬以外に、参加による個人的な利益はありません。

5. その他の説明

当ユニットが採用している実験的な政策や研究に使用されている機器に関する一般情報は、当ウェブサイトでご覧いただけます：<https://groups.oist.jp/ecsu/participate> この研究に関する詳細情報をご希望の場合は、高田一真 k.takada@oist.jp までお問い合わせください。もし研究に関して懸念点がある場合は、研究責任者トム・フロース tom.froese@oist.jp までお問い合わせください。